

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.49 ブドウの誤嚥による窒息の類似事例 (高野豆腐)

| | | |
|---------|---|---|
| 事例 | 年齢：1歳7か月 性別：男 体重：9.6kg 身長：78.0cm | |
| 傷害の種類 | 窒息 | |
| 原因対象物 | 高野豆腐 (表面にキャラクターの図柄) (写真) | |
| 臨床診断名 | 異物誤嚥, 窒息, 急性呼吸不全, 強直性けいれん, 誤嚥性肺炎 | |
| 医療費 | 614,750円 | |
| 発生状況 | 発生場所 | 保育園 |
| | 周囲の人・状況 | 保育士, 同クラスの園児と一緒に給食 (昼食) 時で, 保育士は複数の園児の食事の世話 (介助) をしていた。 |
| | 発生年月日・時刻 | 2016年2月23日 午前11時05分 |
| | 発生時の詳しい様子 と経緯 | 保育園での給食時に, 約2×2cmに分割された高野豆腐が2つ一緒に提供され, 一度に2つ口に入れた。保育士が注意して1つを口から出させた。残った高野豆腐を1-2回噛んだだけで飲みこんだあと, 咳き込んだ。保育士が背中を叩打したが排出されなかったため, 他の職員を呼んだ。微弱な呼吸はあったが, 徐々に意識が消失し, 11時15分ごろCPRを開始した。AEDを使用したけどショックの適応はなかった。その後救急隊が到着したときには自発呼吸があったが, 強直のため開口できず, 異物は除去できなかった。100%酸素を投与しながら搬送された。 |
| 治療経過と予後 | 異物の誤嚥から約35分後に当院に到着した。到着時には開眼していたが呼びかけに反応はなく, 呻吟があり, 四肢は強直していた。著明な陥没呼吸と皮膚色不良, 末梢の冷感を認めた。フェノバルビタールを静脈内投与し, 強直は消失した。酸素化不良, 陥没呼吸の改善がなく, 気管挿管し人工呼吸管理を開始した。気管挿管後に, 口腔から高野豆腐が吸引により排出された。頭部CT写真では異常を認めなかったが, 胸部CT写真で左肺虚脱と右肺上葉に浸潤影を認めた。人工呼吸開始後, 速やかに呼吸状態は改善し, 同日20時に体動がさかんになり偶発的に抜管されてしまった。再挿管を要さず, 入院2日目には意識清明となり, 歩行や経口摂取が可能となった。入院8日目の頭部MRIで異常なく, 身体所見・神経学的所見に異常がないことを確認して退院した。 保育園では, 規則により1歳6か月までは同じ高野豆腐を4分割して提供していた。本児は1歳7か月で, 前月までは今回よりも小さく4分割されたものを摂取していた。本児は事故前から丸のみをする傾向があった。この保育園では, これまでに高野豆腐で窒息した事例はないとのことである。 | |



写真 患児の口腔から出てきた高野豆腐。

ほとんど咀嚼されていない。

キャラクターが記載された1辺が約2cmの直方体。

(キャラクターの顔が書かれているために一部加工した)